

- Wu, S.J., T.M. Lu, M.N. Lai and L.T. Ng. Immunomodulatory activities of medicinal mushroom *Grifola frondosa* extract and its bioactive constituent. *Am. J. Chin. Med.* 41: 131–144, 2013.
- Xu, Y.X., K.R. Pindolia, N. Janakiraman, R.A. Chapman and S.C. Gautam. Curcumin inhibits IL-1 α and TNF- α induction of AP-1 and NF- κ B DNA binding activity in bone marrow stromal cells. *Hematopathol. Mol. Hematol.* 11: 49–62, 1998.

平成26年度厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業・研究成果等普及啓発事業

市民公開講座

知って防ごう

台所とレストランで考える食の安全

トキソプラズマ症

日時 2015年

3月22日(日)

13:30~15:30
(13:00開場)

場所 吉祥寺 東急イン

3F むさしの

東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-3
TEL:0422-47-0109

主催：「わが国における熱帯病・寄生虫症の最適な診断治療体制の構築」研究班
後援：三鷹市教育委員会・三鷹市医師会・武蔵野市教育委員会・武蔵野市医師会

ご挨拶

本日はお忙しいところお越しいただき、誠にありがとうございます。

トキソプラズマ症は原虫が原因の感染症で、とくに妊娠中の女性が感染すると、赤ちゃんに重大な障害をもたらすことが知られています。しかしながら一般での認知度が高いとはいえ、予防や検査が十分におこなわれているとはいえません。

わたくしども熱帯病治療薬研究班は、国内未承認薬を用いた熱帯病、寄生虫病の治療に当たっています。トキソプラズマ症も当研究班が扱う重要疾患であることから、本日は、第一級のトキソプラズマ研究者・臨床家をお招きし、生物学的な側面や、症状、診断、予防等についてお話をいただくことにしました。この講演会により、少しでも正しい知識が広まり、患者さんの発生が減ることを祈っております。

「わが国における熱帯病・寄生虫症の最適な診断治療体制の構築」研究班 班長
宮崎大学医学部 教授
丸山治彦

内容と講師紹介

国立感染症研究所
寄生動物部 第一室室長

なが むね き さぶ ろう
永宗 喜三郎

トキソプラズマは目に見えないほど小さな寄生虫。“彼ら”は口から入ってきます。食べ物だけではなく、ガーデニングにも危険は潜んでいるかもしれません。彼らはあなたの中で、あらゆる臓器で増え続けます。でも、しばらくたつとあなたの体「だけ」は平穏を取り戻すでしょう。妊娠中のあなたの中に侵入したトキソプラズマは、あなたの大切な新しい命にもたどり着きます。あなたと違い、あかちゃんは彼らに対抗する術を持っていません。



平成4年3月 大阪府立大学 農学部獣医学科 卒業

平成8年3月 大阪大学大学院 医学研究科 博士課程修了

その後、大阪大学 微生物病研究所・助手を経て、平成16年5月、米国セントルイス市、ワシントン大学 医学部に留学し、トキソプラズマ研究を始める。帰国後、筑波大学大学院 生命環境科学研究科・助教の後、平成21年4月から国立感染症研究所 寄生動物部。現在、第1室 室長としてトキソプラズマやマラリア原虫の研究に邁進する。

防衛医科大学校
内科学講師

まえだ たくや
前田 卓哉

トキソプラズマ原虫は、重度の脳障害から風邪のような軽微な症状まで、多彩な病気を引き起こすことで知られています。一方、その多彩な病像ゆえに、非常に診断が難しく、どのくらい国内で発生しているのか正確な患者数はわかっていません。しかも、その治療薬でさえも、国内では全てを即座に使用できる状況ではありません。ですので、トキソプラズマ症は予防が大切です。今回の講演会では、病気とそれぞれの予防策について詳しくご説明します。



平成10年3月 和歌山県立医科大学 卒業
平成10年4月 東京都立駒込病院 臨床研修医
平成16年3月 慶應義塾大学大学院(熱帯医学・寄生虫学)修了 博士(医学)
平成17年4月 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 特任助教
平成22年10月 防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)助教
平成25年4月 同 指定講師
日本内科学会認定医、日本感染症学会専門医・指導医、日本エイズ学会認定医・認定指導医、インфекション・コントロール ドクターICD

三井記念病院 産婦人科部長
東京大学非常勤講師

こじま としゆき
小島 俊行

先天性トキソプラズマ症は妊婦さんが妊娠中にトキソプラズマに初感染するとまれに生じる病気です。予防の第一歩は、妊娠を希望する女性と妊婦さん自らがトキソプラズマに感染しているのか否かを知ることです。トキソプラズマIgG抗体検査をクリニックなどで検査すれば未感染か既感染かを知ることができます。抗体(+)で上の子が先天感染していることもあります。未感染とわかれば、妊娠中は初感染の予防が重要です。感染源は①レアな肉(馬刺、鶏のたたき、生ハム、レアステーキなど)、②土いじり、③野良猫のフンなどですので、注意しましょう。



昭和53年3月 東京大学医学部卒業
昭和53年6月 東京大学医学部産科婦人科学教室研修開始
昭和60年5月 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科講師
平成5年9月 東京大学医学部附属病院分院産婦人科講師
平成13年4月 東京大学医学部産科婦人科講師
平成16年9月 三井記念病院産婦人科部長。現在に至る

知って防ごう 台所とレストランで考える食の安全

トキソプラズマ症

プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35-14:05 「お肉とネコの寄生虫、トキソプラズマってなにもの？」
国立感染症研究所 永宗喜三郎 先生
- 14:05-14:35 「成人のトキソプラズマ症」
防衛医科大学校 前田卓哉 先生
- 14:35-15:05 「赤ちゃん（妊娠中）のトキソプラズマ症」
三井記念病院 小島俊行 先生
- 15:05-15:30 質疑応答
- 15:30 閉会

お問い合わせ先：

丸山治彦 宮崎大学医学部寄生虫学分野 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200
TEL：0985-85-0990 FAX：0985-84-3887 hikomaru@med.miyazaki-u.ac.jp

